



本書は、鹿野のまちに似合っていると思われる建物を紹介する冊子です。
今後はみなさまに創意工夫していただいて、
鹿野のまちなみに風景としてとけこみ、美しく
つらなる建物を創っていただくためのものです。

はじめに

合併前の鹿野町では、城下町の面影を残す鹿野地区の街なみ整備・保存を具体的に進める取り組みを平成6年度に始め、平成8年には街なみ整備の指針を策定しました。そして鹿野地区8町内の皆さんによってその整備の指針に基づいた「街づくり協定書」が平成8、9年に結ばれ「鹿野祭りの似合う町」をテーマとした街なみ整備がスタートしました。

その後、400年の伝統を誇る「祭り」を地域住民の心の拠り所に住民・行政が一体となって協働して、鹿野祭りの似合う和風の街なみ景観の整備・保存が進められてきました。

事業着手から10年を経過してようやくその成果が現われてきました。

空き地、空き家や水路等を積極的に活用した施設整備がなされ、地域のみなさんによる景観に調和した住宅改修は60数件におよび、県内外からも注目を集めるようになりました。

今後は、これまでの実績を基にしながら、住民の皆さんが誇りに感じ、より多くの人々が訪れるレベルの高い街なみづくりを進めてゆく段階となります。そして、設計者の方や実際に現場で工事に携わる技術者の方々の役割はこれから益々重要になってきます。

この冊子は、そういった技術者の方々が、鹿野らしい風情ある街なみを整備するための解説書として発刊したものです。

編集にあたっては、鳥取環境大学教授の東樋口護先生、街なみ整備アドバイザーで建築士の木下正昭氏、同じく建築士の中尾純一氏、とっとり政策総合研究センターの澤田廉路氏、地元大工・工務店関係者の方々の参加を得て「まち普請の作法を作る会」を結成し、NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会の渡邊修司、筒井洋平の両氏にとりまとめていただきました。

この鹿野の「まち普請の作法」を、鹿野城下町地区において家造りに携わる技術者の方々はもちろんのこと、地域住民の皆さんにも有効に活用していただき、街なみ環境整備が益々進展することを期待しています。

平成17年3月

も く じ

1 まちは大切な共有財産	5
2 「まち普請の作法」を作った目的	6
3 鹿野の歴史	7
4 街なみ環境整備地区鹿野の位置付け	9
5 住まいのつくり手・住まい手の留意点	10
コラム - 鹿野城下地区地価 -	12
6 まちなみ参考図集	13
6-1 矩計（断面）	14
6-2 天空率はまちなみ形成の重要な要素	16
6-3 格子戸	17
6-4 腕木	21
6-5 持送	22
6-6 床下換気口	23
6-7 車庫の目隠し	24
7 鹿野まちなみ整備による事例	25
あ と が き	27
資 料 編	29
鹿野まちなみアンケート・帰省者アンケート結果集計表	31
写 真 集	
まちから見える風景	40
玄関先の工夫	41
まちなみへの気づかい	42
駐車場・ガレージへの配慮	43
壁面への配慮	44
美しいまちなみ・家なみ	45
水路の似合うまち	46
まちなみマップ	

1 まちは大切な共有財産

それぞれの地域には、そこならではの固有の歴史、伝統・文化があり、同じ地域は二つとないのである。鹿野は鹿野ならではの歴史、伝統・文化があり、その地域の総体を称して「鹿野らしさ」と云うのではなかろうか。地域の自然環境そのもの、気候・風土に対応した様々な工夫や歴史的な地域の位置関係、地域の特産物を利用した産業などあらゆるものが綴じ込められて、かたちづくられているのが「まち」ではなかろうか。

その「まち」を構成する家並み・まちなみはここでいう歴史、伝統・文化に裏付けられた人々の共有する膨大な記憶、慣習が形となって現れているのである。知らず、知らずのうちに自然と歴史が一体となって地域環境をつくりだしてきている。また、数量化しづらいその歴史的、文化的なまちは、住民の心にやすらぎを与え、訪れるものにホットした安心感を与える。

何気ない、当たり前と思っている日常の空間に込められた、鹿野の歴史的な地域性を大切にし、過去からの伝統・文化を次世代に引き継いで行きたいものである。

山城の国から来たとされる大工棟梁によって建てられた家には、当時理想とされた京普請の技術を使ったものが入っているのではなかろうか。いずれにしても、洗練され、磨き抜かれた造形をこの地域の様式美として残し、地域に調和した工夫を加え、伝えていかなければならない。そこにこそ、地域の自慢できる、本物の歴史、伝統・文化がある。これは個人個人の私有を越え、時間を越えた地域の共有財産である。

ここに、その本物の伝統・文化を活かした地域の共有の財産としての「まち普請」の指針を定め、「まち普請の作法」を地域住民みんなで取り決めて、整備をすすめようとするものである。



2 「まち普請の作法」を作った目的

街なみ環境整備に関わる関係者が鹿野らしい景観形成について、共通理解を深め、鹿野らしい歴史と伝統・文化、風格を感じさせ、鹿野祭りの映える修景整備になるようにする。そのため、まちで普請するときは、住宅でも、塀でも工事の内容が鹿野の歴史、伝統・文化になじんだものになっているかどうか。普請を頼んだ方も、頼まれた方もよく考え、普請（工事）の内容と精度を向上させて、鹿野の景観にふさわしい地域住民の満足度の向上が図られるよう、その整備の作法を定めるものである。

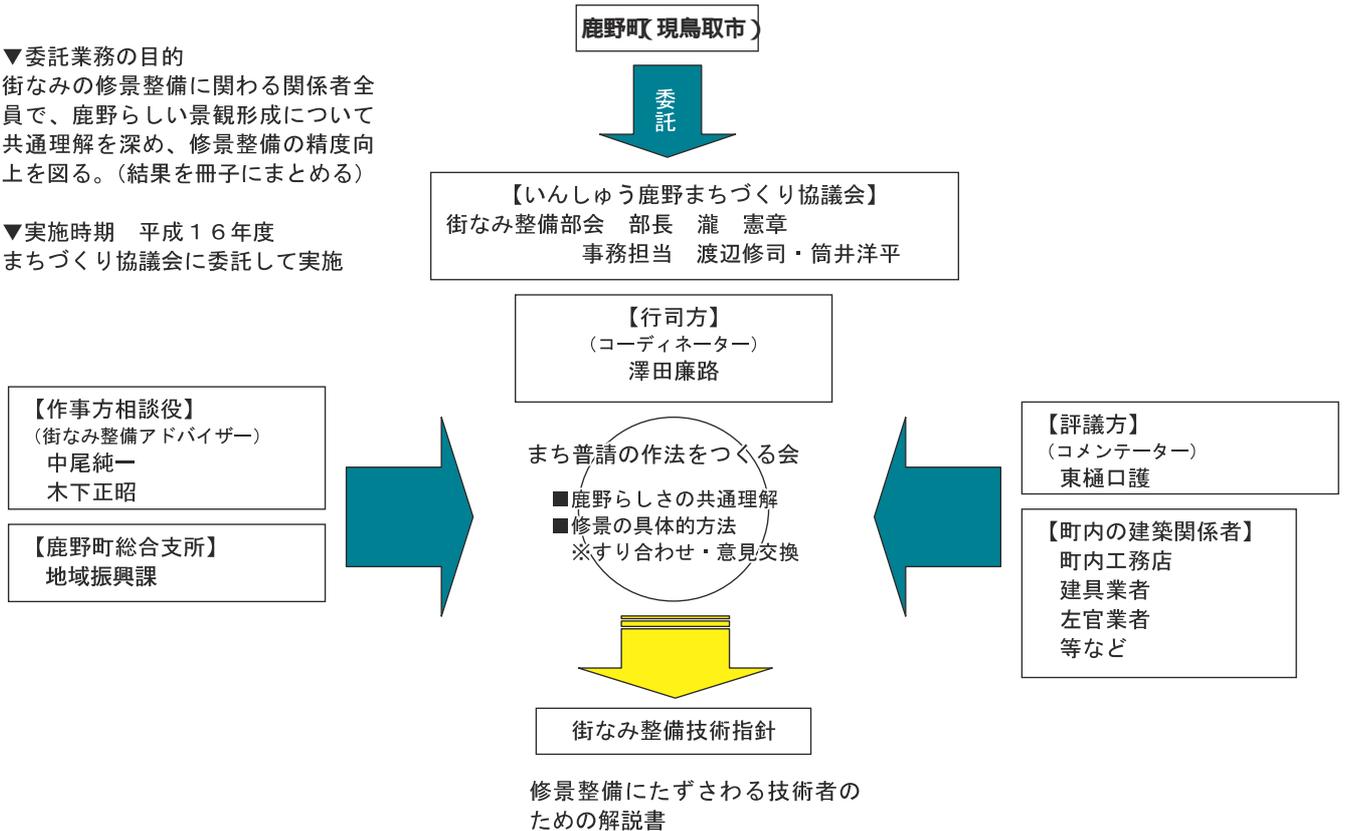
「まち普請の作法」計画

▼委託業務の目的

街なみの修景整備に関わる関係者全員で、鹿野らしい景観形成について共通理解を深め、修景整備の精度向上を図る。（結果を冊子にまとめる）

▼実施時期 平成16年度

まちづくり協議会に委託して実施



3 鹿野の歴史

中世における鹿野は軍事上・交通上の重要拠点として隣国但馬（山名氏）からの侵入や出雲・安芸方面（尼子・毛利両氏）からの侵入、さらに豊臣秀吉軍の侵入など争奪攻防の的となった。尼子の遺臣で早くから秀吉に従い、鳥取城攻めの戦功の大きかった亀井茲矩が天正9年、気多郡1万3800石を得て鹿野城主になった。亀井茲矩の登場により平静を得て、その後は城下町、近隣の物産集散地として発展していった。

茲矩は関ヶ原の合戦では石田三成と意見があわず、徳川家康の東軍に組み込んで戦い、高草郡2万4200石を加増され、3万8千石を領有した。茲矩から家督を引き継いだ政矩は5千石加増され4万3千石の所領になった。しかし、鹿野城は元和元年の一国一城令により破壊され、茲矩から家督を引き継いだ政矩に元和3年転封の幕命が下り、政矩が津和野に移った後鹿野は次第にさびれていった。

亀井公の時代は、天正9年（1581）から元和3年（1618）までの37年間、亀井茲矩、政矩2代にわたる期間である。この間、新田開発、植林、治水、殖産興業、御朱印船貿易等々、実に刮目すべき治政が実施され、「鹿野」が歴史の中で一番輝いた時代である。

鹿野のまちはこの時代にかたちづくられていったのである。まず、亀井茲矩は鹿野周辺を流れる河内川、水谷川、末用川等の流路を改め、大がかりな改修を行い、城の外郭を整備した。そして、茲矩は城の周辺に侍屋敷を配置（殿町）し、その外側に町屋を設けた。現存する町名は、小屋根・紺屋町・上町・立町・下町・鍛冶町・山根町・大工町であるが、これをみても、鹿野には商工業者の職人町があったことが分かる。そのほか、『拾遺鹿野故事談』によると、「津山町・八日町・新町・魚町・茶町・河原町・スヤマ町・呉服町・ノボリ町・本町・油点町」等の町名が記されている。このうち、茶町は「茶苑小路」付近、河原町は紺屋町から雲龍寺に至る道の南側、この隣に新町、魚町は字「下町北側」の北、呉服町は大工町の南側にあったと伝えられている。新町は町の大半が宝木に移り、宝木新町を作った。

街路は、城下町特有のT字路、L字路が各所にみられ、遠見遮断が考えられている。道路の幅員は商業の中心地区とみられる上町・下町が約二間半で広く、職人町の大工町付近では約二間となっている。また、侍屋敷は一間～一間半で狭く、屈曲点を多くし防衛上の配慮がうかがえる。

紺屋町、上町、下町、山根町、鍛冶町、大工町、殿町、立町の幹線道路の側面には水路が作られており、随所に石造の「せき」が設置され、防火用水として水をたたえ、緊急事態に対応できるようになっている。

池田藩政に変わっても亀井公以来の城下町としての伝統を持ち続け、維新の後、明治3年には鹿野村が成立して、翌年には鳥取県に所属するが明治9年には島根県の所属になった。しかし、明治14年には再び鳥取県の所属になり、明治32年には鹿野村に町制が施行された。昭和30年には、勝谷村、小鷲河村を吸収合併して鹿野町が誕生し、平成16年10月には鳥取市と合併した。



4 街なみ環境整備地区鹿野の位置付け

鹿野地区は亀井公以来の殿町・御茶苑・堀端・鉄砲屋・的場・鍛冶町・大工町・紺屋町などの地名が残り、400年の歴史の中で文化を育みながら、中世末期の城下町風情が今も残されている。

歴史で触れた遠見遮断をするT字路やL字の街路の他、切り妻屋根や京格子のまちなみ等城下町風情を残し、神社・仏閣も地区内に点在する。

現在の鹿野地区の家屋は昭和18年の鳥取大震災で、建て替えられた家屋が多く、それらのものの中には老朽化が進み、最近新築改築されるものが多くなった。和風建築の多いまちなみに不具合なデザインの洋風建築もあらわれ、また、空き家、空き地となってまちなみの連続性が途切れ、伝統的な景観を阻害する例も散見されるようになった。

鹿野町では亀井公ゆかりのこの地域に残る「城山神社祭礼」鹿野祭りの御幸行列が映える「祭りの似合う街」を町の整備構想の柱にして平成6年に鹿野町基本整備構想を策定した。これをもとに、地区住民が主体的にまちなみ整備の指針をつくり、現在も国庫補助事業「街なみ環境整備事業」を御幸行列が繰り出す三つの通り8地区、約350世帯で実施している。

道路や水路、石灯笼などの環境整備は町がするものの、窓格子や腰板張り、漆喰の外壁など個人の住宅整備にも基準をつくり、町内ごとに街づくり協定書がつくられている。この協定書の内容を住民一人ひとりが「まち普請の作法」として理解し、まちなみを住民の共有財産として、今後とも鹿野では、保全、整備に努めていくものである。



5 住まいのつくり手・住まい手の留意点

住まいのつくり手の注意点

つくり手とは施工者・大工さん・建具屋さん・設計者等を指します。

はじめに街づくり協定書を尊重し、計画（新築、改築、模様替え等）を進めること。（鹿野城下町地区景観ガイドライン参照）

整備の手順（本誌資料編・鹿野城下町地区景観ガイドライン参照）に沿って手続き及び図面、見積書等を提出すること。

まちなみのつながりを大切に、前面の形を計画すること。

（軒の高さ、屋根勾配、塀、生垣など特に向こう3軒両隣はよく観る）

施主の要望をしっかり受け止めて、新しい暮らしの提案をする。

かつ、内部の空間が豊かになるよう創意工夫すること。

格子・建具などは現在のまちなみで美しさを醸し出している。本書の事例を参照とする。

鹿野の町は両側が隣地と近接している為、日当たりと風通しについて天窓や、吹き抜け等で新しい暮らし方を提案してください。



住まい手の留意点

はじめに街づくり協定書を尊重し計画を進めること。

(鹿野城下地区景観ガイドライン参照)

整備の手順(本誌資料編・鹿野城下町地区景観ガイドライン参照)に沿って手続き及び図面、見積書等を添えて提出すること。(施工者と相談・協議)
40~50年経過した家でも工夫によっては強さを確保して(補強)鹿野らしい表情も創れます。(改装等)

新しい暮らしに適応した家にする為には施工者・設計者に全てお任せではなく、しっかりとした思いを伝えて図面等で確認することも大切です。
縁・格子・のれん・和紙飾りなどが似合う家の表情を創りましょう。
車庫や駐車スペースは特に工夫が必要です。まちなみに調和したデザインにしてください。



旧鹿野町下落止まる

公示地価 古い街並み保存奏功

国土交通省は23日、05年の公示地価を発表した。県内では、全用途の平均が7年連続でマイナス。下落幅は商業地で縮

まったが、住宅地は前年より0・3%狭がった。一方、旧鹿野町の鹿野地区は下落にストップがかかり、古い街並みを保存

する街づくりが功を奏したとみられる。

都道府県が実施する地価調査（7月1日）と併せて、土地取引価格の指標となるもので、県内4市13町村の154地点を1月1日現在で調べた。

変動率は住宅地がマイナス5・2%。鳥取市は、価格水準の低い周辺

町村の分譲地や分譲マンションとの競合で特に下落が続き、同市東町2丁目341番1で県内最大の下落率となった。

商業地の変動率はマイナス7・6%と前年より0・5%下落が縮まった

が、郊外大型店舗の影響などを反映し、市部で下落が目立った。

住宅地、商業地ともに、下落幅が最小だったのは鳥取市鹿野町鹿野地区。同地区では94年、街並み環境整備事業が始まった。鹿野城跡周辺の城

下町の風情を取り戻すため、石垣や石造りの水路の修復、土色のアスファルトを使った道路整備などを進めてきた。

最高価格は、住宅地では下落幅が最大だった鳥取市東町2丁目341番1の14万6千円、商業地は同市栄町710番の33万5千円だった。

分析している。

公示地価を第3地方版に掲載

今年の公示地価のうち、鳥取・岡山・島根県分を31面に掲載しました。



古い町並みの保存が地価の下落率の歯止めにつながった。鳥取市鹿野町鹿野で

平成6年からはじまり平成16年で11年が経過したこの「鹿野らしい美しいまちなみの形成」は住民・行政がともに試行錯誤を重ねながら取り組み始め、伝統的な鹿野のまちなみ景観が現れてきました。

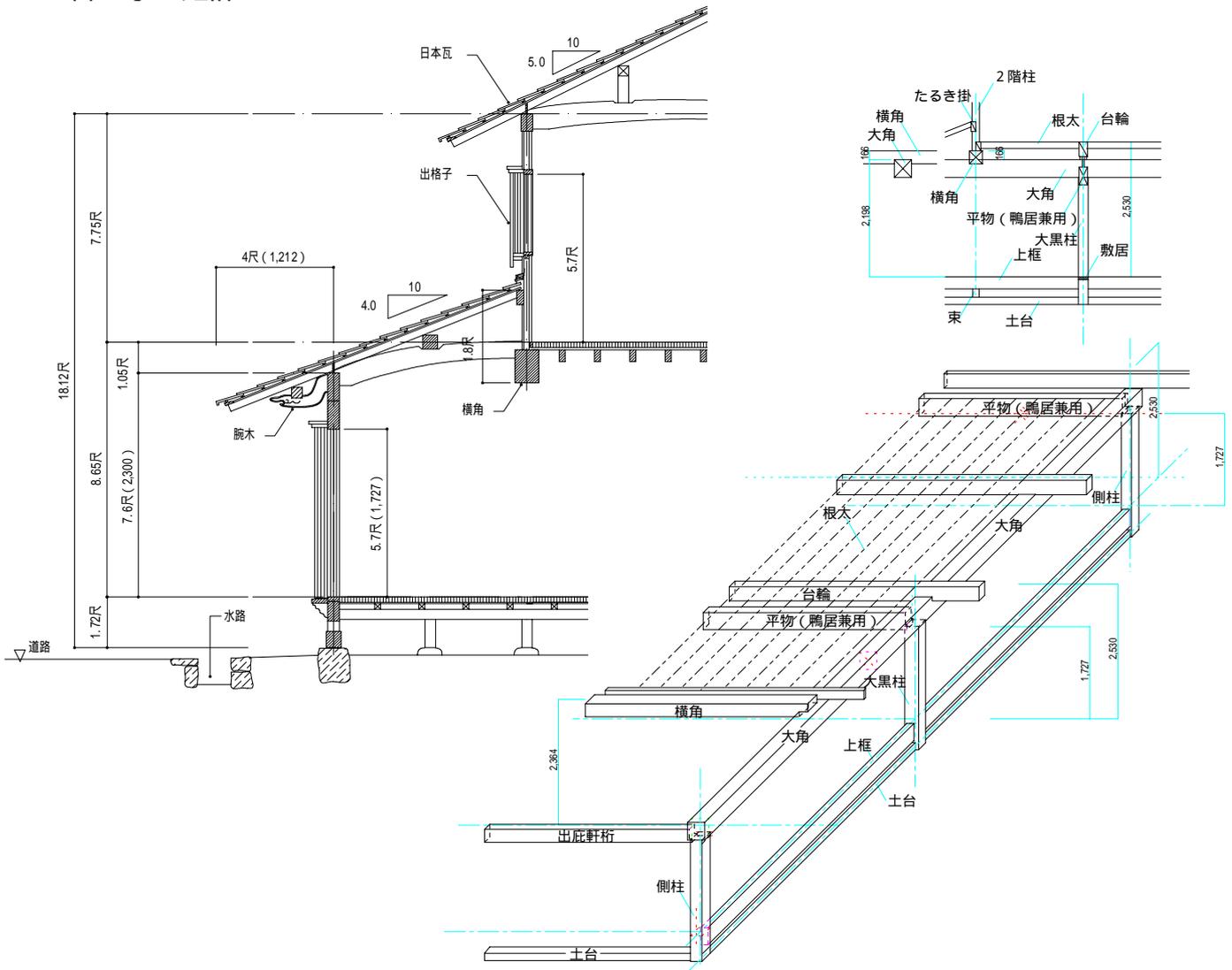
この朝日新聞の記事はこうした取り組みが、地域の価値を高め、全国的に地価の下落が進む中、鹿野城下地域は地価の下落に歯止めがかかったものと報じています。この取り組みが将来にわたって鹿野町全域に波及して、鹿野らしい美しいまちなみの再現・創出へと拡げていきたいものです。

6 まちなみ参考図集

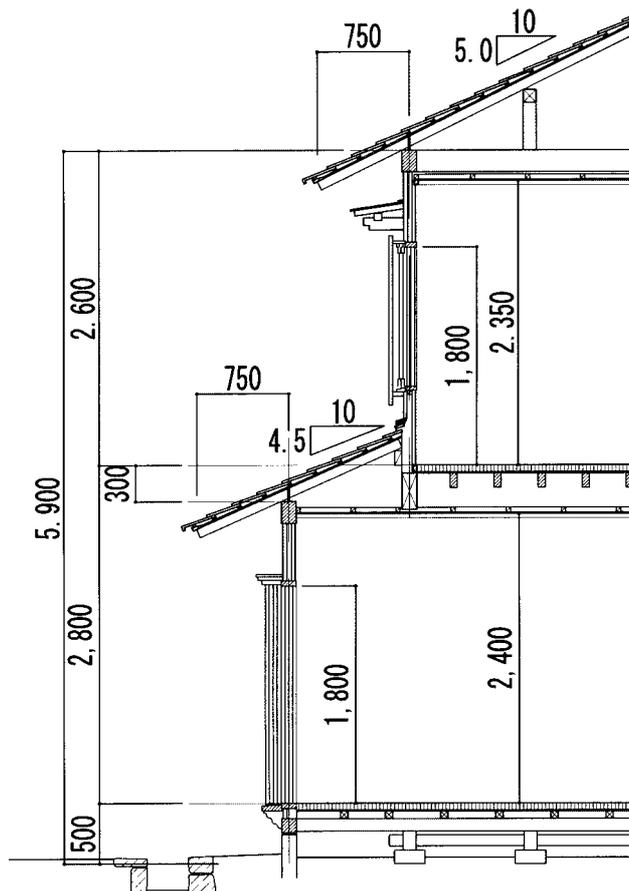
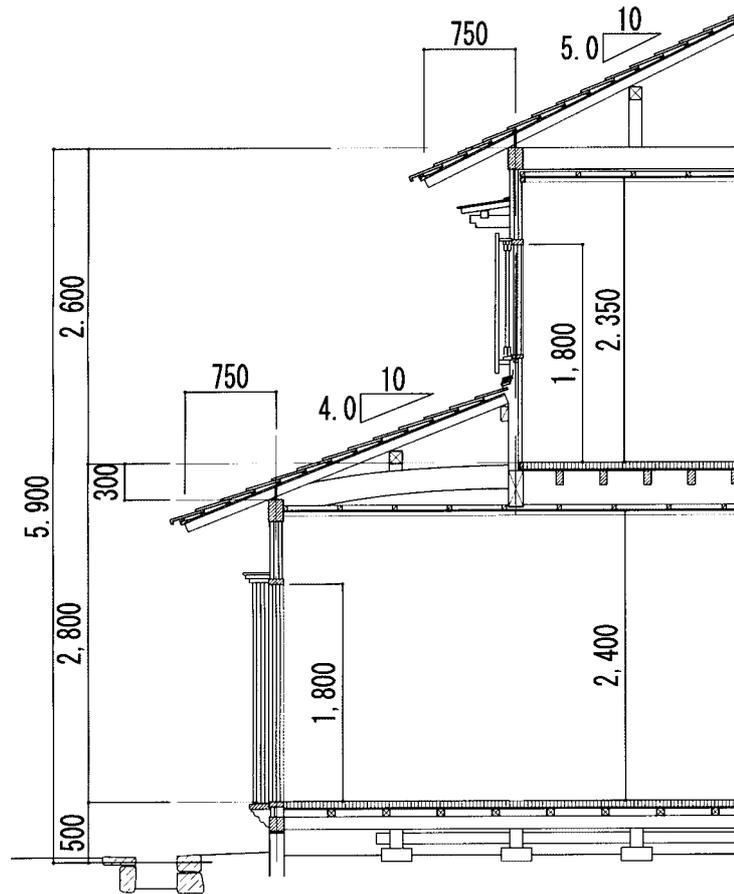


6 - 1 矩 計 (断面)

古い家の矩計



現在の家の矩計



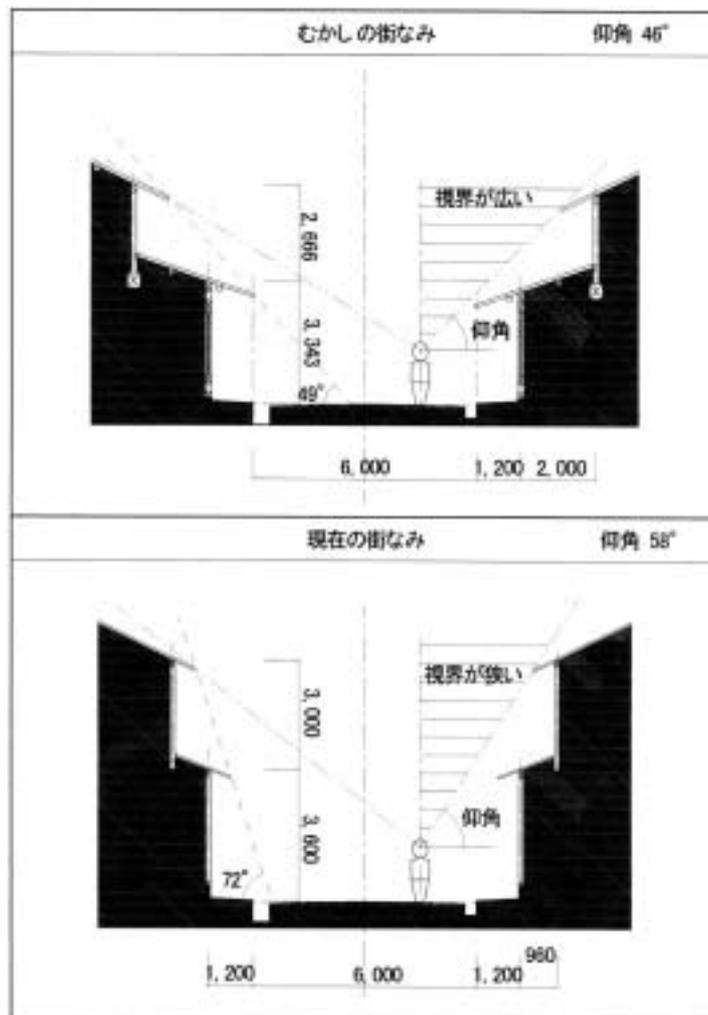
6 - 2 天空率はまちなみ形成の重要な要素

鹿野のまちを散策する人々の多くは、整然としていてここちよいまちだと言う。このここちよいまちとはどんなことを指すのだろう。

道路が整備されている、水路があって水音が聞こえる、古い家（明治期）が所々に残されている、人々が互いに挨拶を交わすなど様々な要素が考えられる。これらの要素はまちを形成する道路と建物等の調和と人々のもてなしの心の二つに大別される。

その一つである、道路と建物の調和について考えてみると、天空率（空の見える割合）が重要ではないかと思われる。つまり下図に示すとおり軒の高さが影響している。程好い軒高は程好い仰角を得ることである。古い家並みの軒高と現在新築の家並みの軒高を比較することにより、調和の取れたここちよい家並み形成が得られるよう軒高（仰角）を決めると良い。

天空率は2002年7月に初めて建築基準法に導入されたものだが、ここで言う天空率は同じ意味ではない。

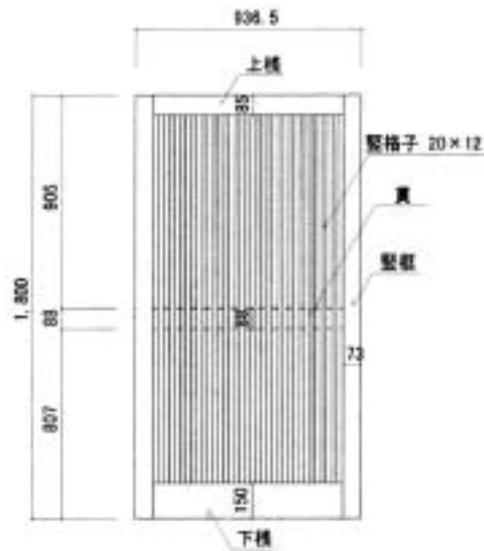


6 - 3 格子戸

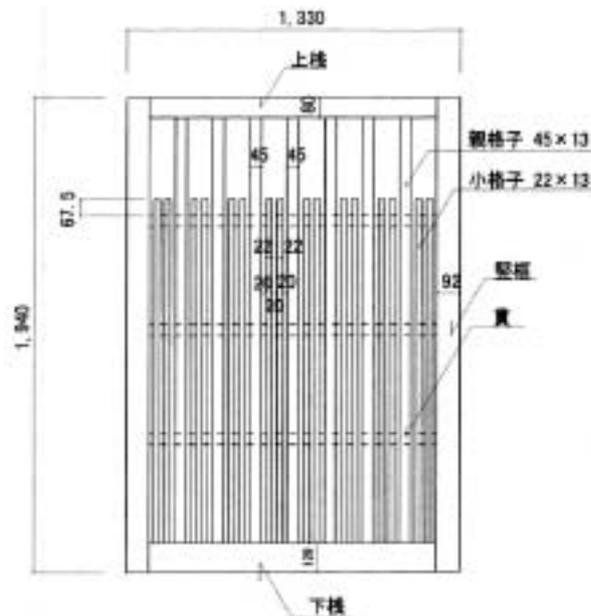
格子戸のデザイン

格子戸のデザインのおもしろ味は格子の見付きの大きさがつくるリズム感である。格子戸の基本的な形である見付きと間隔が同じ寸法になる、いわゆる「小間返し」と呼ばれるものから、見付きの大小を組合わせた「親子格子」及び「吹き寄せ格子」など、その表現の仕方によって感じが違ってくる。これは建具の置かれる場所によって表現を選ばなくてはならないことを意味している。（彰国社編「木造の詳細 4」より抜粋）

玄関格子戸

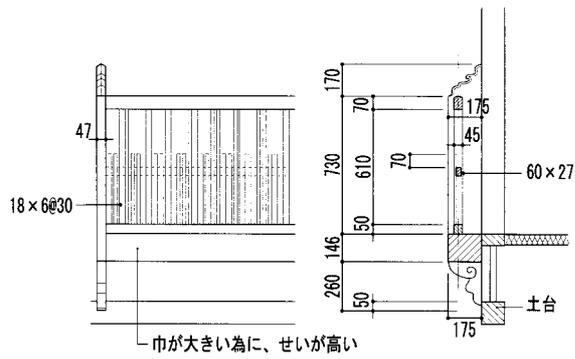


車庫格子戸



格子 (固定)

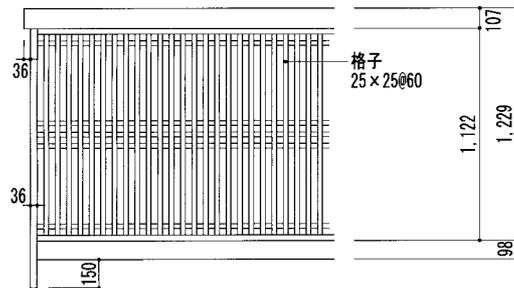
腰高格子 1



田中邸

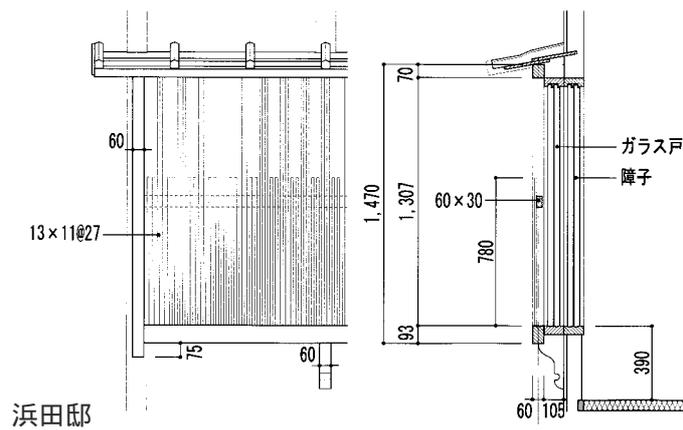


腰高格子 2



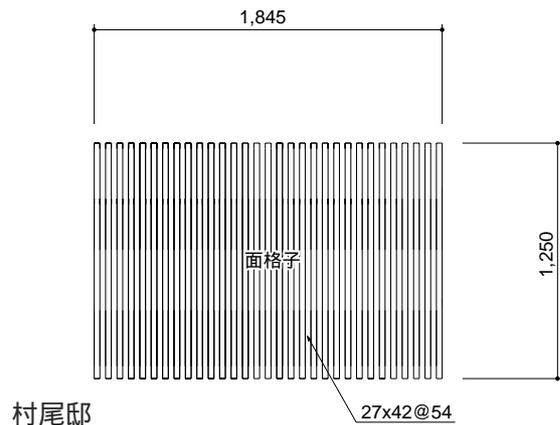
高田邸

面格子 1



浜田邸

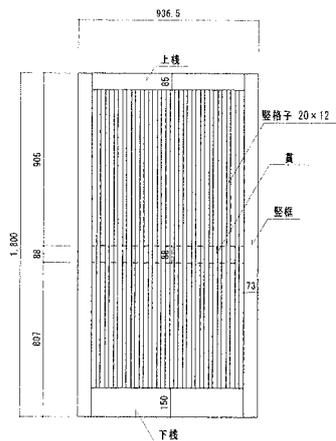
面格子 2



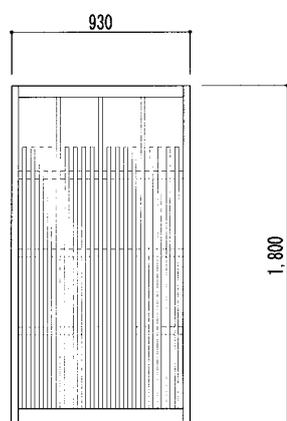
村尾邸

格子戸

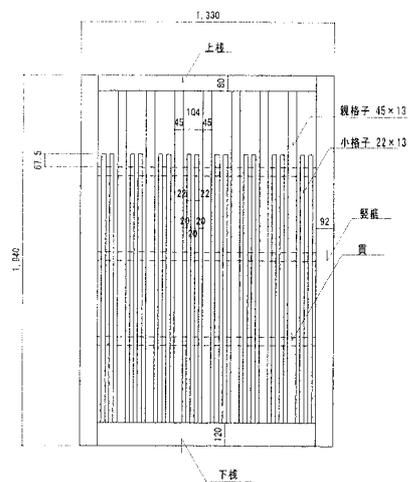
玄関戸 1



玄関戸 2



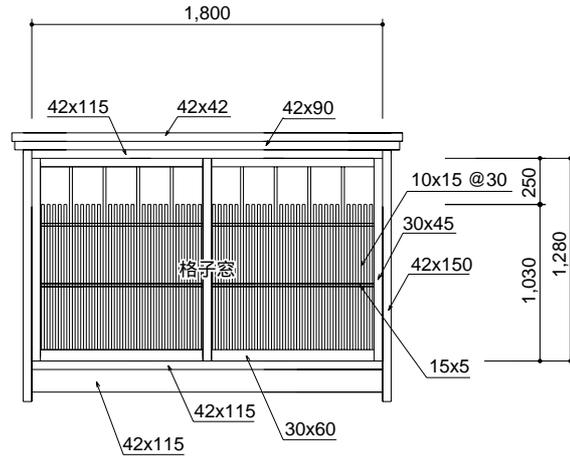
車庫



中尾邸

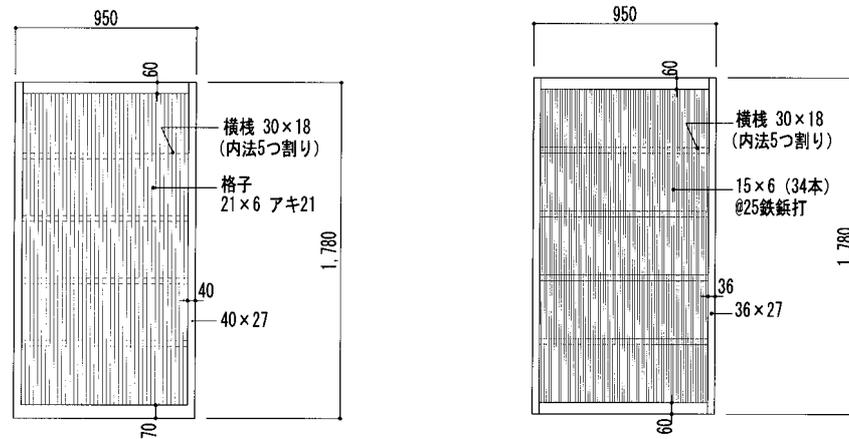
格子戸

格子窓



村尾邸

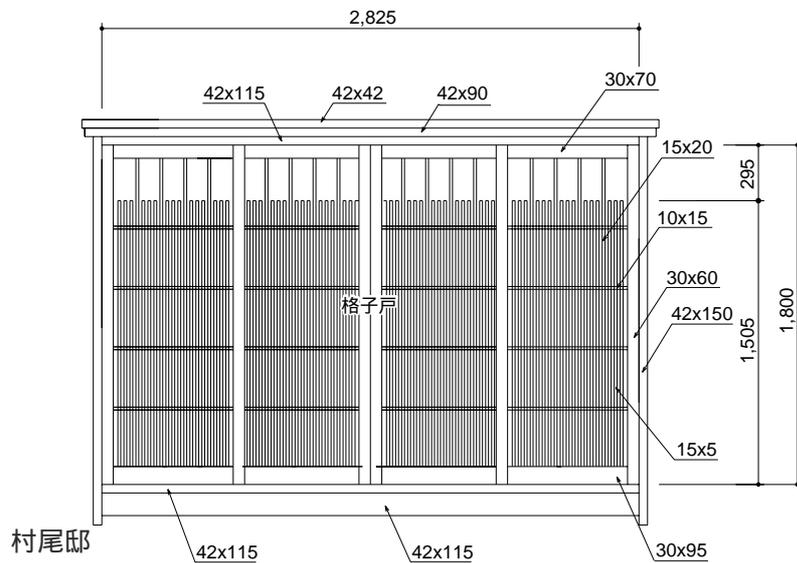
格子戸



山城屋

浜田邸

はき出し窓



村尾邸



6 - 4 腕 木



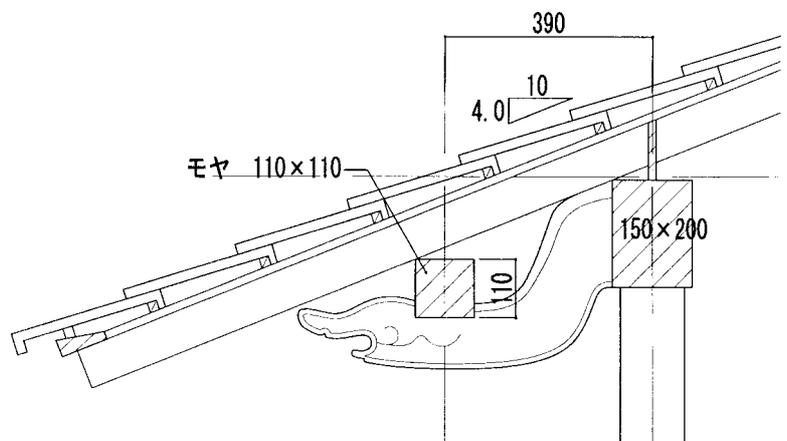
田中邸



津中邸



村尾邸



6 - 5 持 送



能勢邸



橋本邸



稲垣邸



熊谷邸

6 - 6 床下換気口



原田邸



村岡邸



橋本邸

6 - 7 車庫の目隠



田中邸



車庫入口のオーバースライダーに杉板を張り、街並に違和感を与えないように配慮した好例。

村尾邸

7 鹿野まちなみ整備による事例

整備前

中尾政和邸住宅修繕工事

完成



整備前

田中敏明邸門新築工事

完成



整備前

原田春夫邸住宅修繕工事

完成



整備前

高田年康邸土蔵修繕工事

完成



整備前

中原敏春邸店舗併用住宅修繕工事

完成



整備前

松本保則邸店舗併用住宅改築工事

完成



整備前

村尾秀男邸住宅修繕工事

完成



整備前

長尾護邸住宅改築工事

完成



あ と が き

鹿野の景観まちづくりは、10年に及ぶ取り組みを持続してきました。そして、今、新たなこれからの10年に向けた、再出発の時にあります。

21世紀初頭の現在、高齢化・人口減少・生産中心社会の終焉など、大きく社会は変わろうとしています。環境を保全し生きる歓びに満ちた美しい地域を形成していく、地域循環の社会の構築に向けて、様々な取り組みが進みつつあります。

「鹿野祭りの似合うまちづくり」は、生活の中に息づいている祭りという伝統文化の保全・再生を中心コンセプトとして、その舞台である街並みと道・水路を整える事業を、鹿野の住民と行政、大工工務店・専門家の協働で進めてきました。

この10年の成果は、立派に実を結びつつあります。古い町家の再生だけでなく、新築住居や駐車場も街並み形成に寄与するようになりまし、町家を活用した施設も町民のみならず、外来者をも惹きつける施設になりつつあります。まちづくりに参加する住民も増えてきていますし、休みに戻ってくる町出身者の街並みに対する評判と誇りの意識も高まりつつあります。今や、県内でも有数の街並みまちづくりと評価されるようになりました。

しかし、鹿野の景観まちづくりは、まだまだ、多くの課題を抱えています。

例えば、道やポケットパーク、ウェルカムライトの灯籠は美しくなりましたが、水路の整備は今後の課題です。空き家を利用した福祉施設も必要です。美しい城山や里山景観を生かすことも課題です。景観法の活用も日程にのせる必要があります。そして、何よりも、これからの住民の住まいづくりに、より美しい鹿野の街並みを形成していくようなしっかりとした取り組みが求められます。

今回、策定した鹿野の「まち普請の作法」は、住民の皆さん一人一人の住まいづくりが、鹿野の街並み形成につながり、よりよい地域を形成していくための指針をとりまとめたものです。これが、住民の皆さんに共有され、鹿野の共有資産としての街並みがよりよく発展していくことを期待します。旧城下町地区だけでなく、町内全域にわたって、皆さん一人一人の住まいづくりが、今後の10年を経て、美しい自然と調和した街並みと集落景観を実現出来ればと、期待します。

まち普請の作法を作る会 評議方（アドバイザー）
鳥取環境大学・環境デザイン学科・教授

東樋口 護

資料編

鹿野まちなみアンケート・帰省者アンケート結果集計表

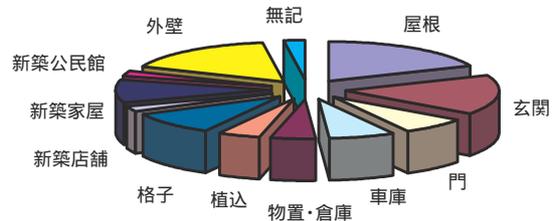
修景事業実施59世帯対象アンケート アンケート期間：平成16年11月23日～11月30日

まちなみ整備交付金を受けて、新築・増改築を行った世帯を対象に実施したアンケートによると、玄関・屋根・外壁など、道路に面した人の目につく箇所を中心に整備しており、整備した人のほとんどが満足していることが分かる。

しかしその一方で、格子が暗いなどの不満の声も一部ある。これは、整備に対して多くの人が業者任せであるという実態からであると思われる。

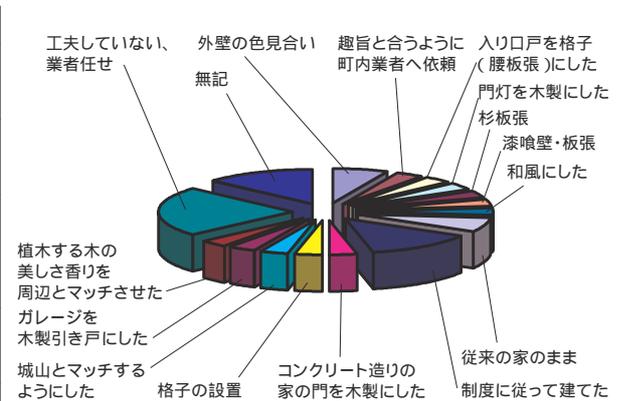
質問1. 街なみ整備補助金制度を活用し、整備したところはどこですか？

屋根	8	格子	4
玄関	7	新築店舗	1
門	3	新築家屋	4
車庫	3	新築公民館	1
物置・倉庫	2	外壁	7
植込	2	無記	1



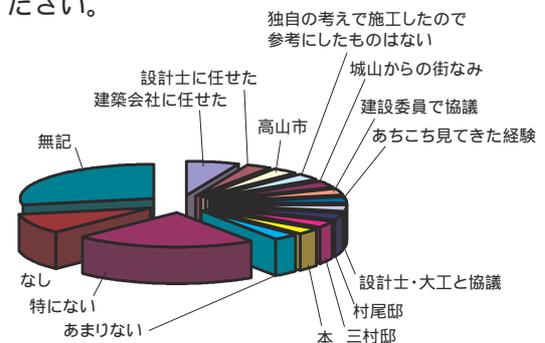
質問2. 鹿野らしさを出すためにどんな所に工夫しましたか？

外壁の色見合い	2	格子の設置	1
趣旨と合うように町内業者へ依頼	1	城山とマッチするようにした	1
入り口戸を格子(腰板張)にした	1	ガレージを木製引き戸にした	1
門灯を木製にした	1	植木する木の美しさ香りを周辺とマッチさせた	1
杉板張	1	工夫していない、業者任せ	7
漆喰壁・板張	1	無記	4
和風にした	1		
従来そのまま	2		
制度に従って建てた	4		
コンクリート造りの家の門を木製にした	1		



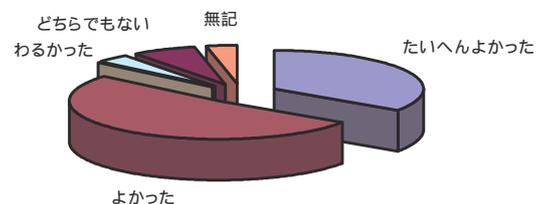
質問3. 工夫するのに参考にした家や資料があれば教えてください。

設計士に任せた	2	設計士・大工と協議	1
建築会社に任せた	1	村尾邸	1
高山市	1	三村邸	1
独自の考えで施工したので参考にしたものはない	1	本	1
城山からの街なみ	1	あまりない	1
建設委員で協議	1	特になし	7
あちこち見てきた経験	1	なし	3
		無記	9



質問4. 整備してよかったですか？

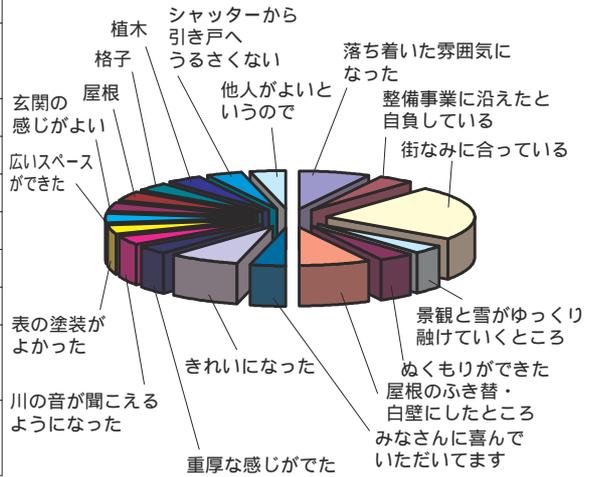
たいへんよかった	10
よかった	15
たいへんわるかった	0
わるかった	1
どちらでもない	2
無記	1



質問5. 質問4で「たいへんよかった」「よかった」と答えた方、それはどこですか？

落ち着いた雰囲気になった	2
整備事業に沿えたと自負している	1
街なみに合っている	6
景観と雪がゆっくり融けていくところ	1
ぬくもりができた	1
屋根のふき替・白壁にしたところ	2
みなさんに喜んでいただいています	1
きれいになった	2

重厚な感じがでた	1
川の音が聞こえるようになった	1
表の塗装がよかった	1
広いスペースができた	1
玄関の感じがよい	1
屋根	1
格子	1
植木	1
シャッターから引き戸へうるさくない	1
他人がよいというので	1



質問6. 質問4で「わかった」「たいへんわかった」と答えた方、それはどこですか？

格子があまりよくない	1
業者が気を使って施工しないといいものはできない	1

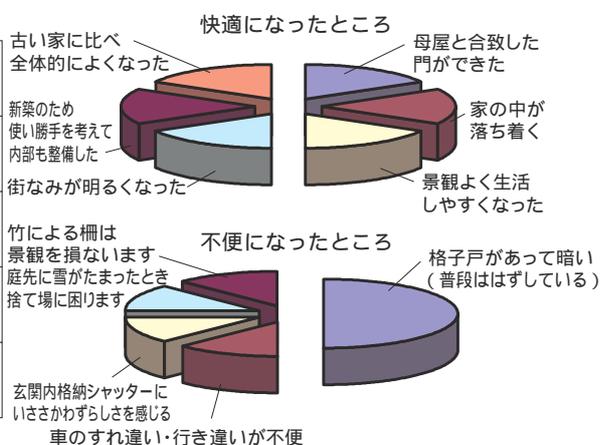
質問7. 整備後生活してみて快適になったところ・逆に不便になったところはありますか？

快適になったところ

母屋と合致した門ができた	1
家の中が落ち着く	1
景観よく生活しやすくなった	1
街なみが明るくなった	1
新築のため使い勝手を考えて内部も整備した	1
古い家に比べ全体的によくなった	1

不便になったところ

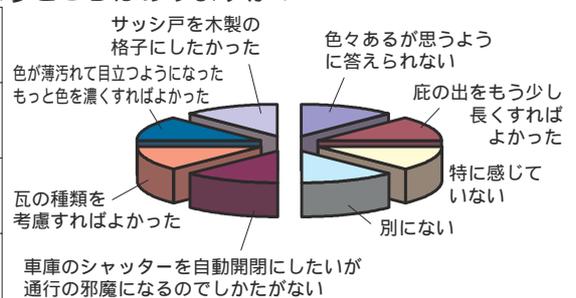
格子戸があって暗い(普段ははずしている)	4
車のすれ違い・行き違いが不便	1
玄関内格納シャッターにいささかわずらしさを感じる	1
庭先に雪がたまったとき捨て場に困ります	1
竹による柵は景観を損ないます。	1



質問8. 生活してみて「もっとこうすれば良かった」と思うところはありますか？

色々あるが思うように答えられない	1
庇の出をもう少し長くすればよかった	1
特に感じていない	1
別がない	1

車庫のシャッターを自動開閉にしたいが通行の邪魔になるのでしかたがない	1
瓦の種類を考慮すればよかった	1
色が薄汚れて目立つようになったもっと色を濃くすればよかった	1
サッシ戸を木製の格子にしたかった	1



質問9. その他ご意見・思い・アイデア等があればどんな事でも結構ですのでお書きください。

- ・電線の地中化 ・空き家の管理
- ・以前あった橋は架けたらいけないということで木製の橋を架けているが外観もまちまちで数年後には腐食して外観が悪くなるおそれがある。自己負担してでも設置した方がよい(以前の場所に御影石等で)
- ・生活の利便性を考えて外観等をした方がよい
- ・住民のため整備か、観光客のための整備か考えてほしい、今は観光客のための街なみ整備になっている
- ・殿町本通り(東西)の整備が残っている点が気になります
- ・空き地利用の工夫が今後の課題(地権者との話し合いも大切です)
- ・伝統的なこと近代的なことをミックスさせて特徴を出せばよい

鹿野まちなみアンケート

アンケート期間：平成16年12月22日～平成17年1月26日

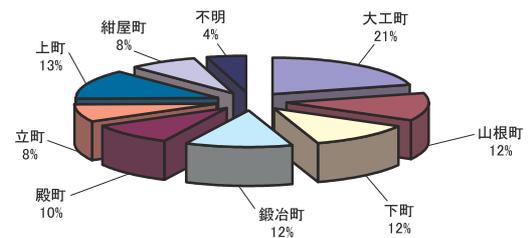
88%の住民が今後も鹿野に住みたいと考えており、87%の住民が、この十年間におけるまちなみへの取り組みに対して評価していることが分かった。

また、まちなみ景観の変化に伴い、半数以上の住民が誇り・愛着の気持ちが持てるようになったと答えている。

そういったことから、今後新築・増改築の際にはまちなみに合った家にしたいと考えている住民は72%、鹿野のまちなみのために何か協力したいと考えている住民は94%もあり、この10年の取り組みにより、住民の街並みに対する高い意識を持たせたといえる。

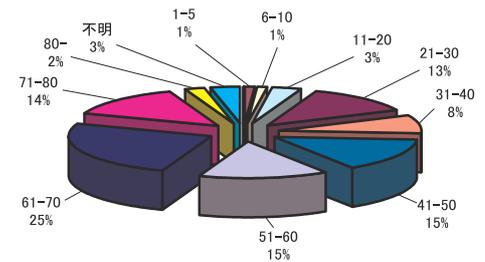
質問1. あなたの住んでいる町は？

	大工町	山根町	下町	鍛冶町	殿町	立町	上町	紺屋町	不明	計
出荷数	68	27	35	38	45	22	47	45		327
数	19	11	11	11	9	7	12	7	4	91
回収率	28%	41%	31%	29%	20%	32%	26%	16%		28%
全体率	21%	12%	12%	12%	10%	8%	13%	8%	4%	100%



質問2. あなたの年齢は？

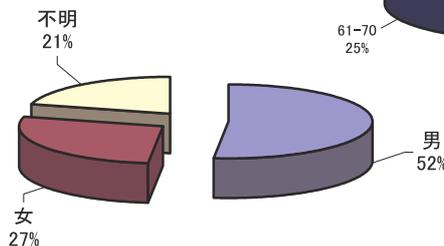
	-1	1-5	6-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	80-	不明	
数	0	1	1	3	11	7	13	13	22	12	2	3	88
全体比	0%	1%	1%	3%	13%	8%	15%	15%	25%	14%	2%	3%	



質問3. あなたの性別は？

	男	女	不明
数	47	25	19
男女比	52%	27%	21%

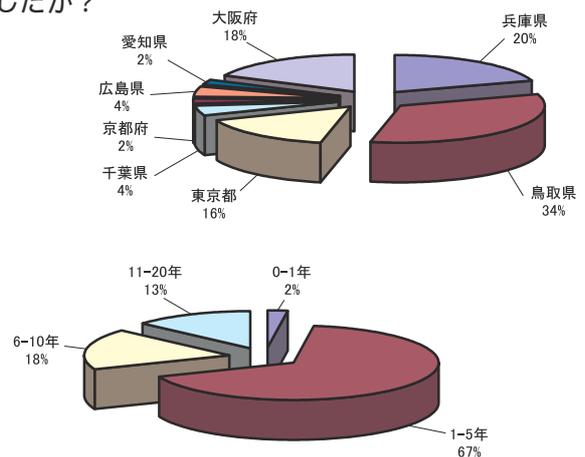
91



質問4. 途中町外に住んでいた方へ、どこに住んでいましたか？

質問5. また、そこには何年住んでいましたか？

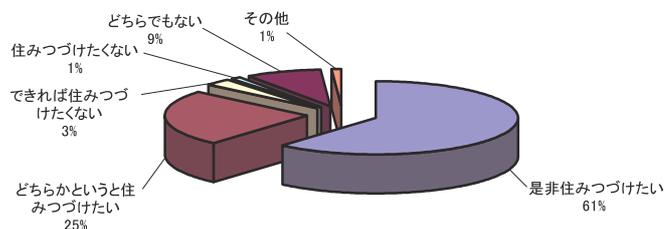
	-1	1-5	6-10	11-20	計	場所
兵庫県	1	5	2	1	9	20%
鳥取県	0	10	1	4	15	33%
東京都	0	4	2	1	7	16%
千葉県	0	2	0	0	2	4%
京都府	0	1	0	0	1	2%
広島県	0	2	0	0	2	4%
愛知県	0	0	1	0	1	2%
大阪府	0	6	2	0	8	18%
計	1	30	8	6	45	100%
期間	2%	67%	18%	13%	100%	



質問6. 今後も鹿野に住みつづけたいですか？

	是非住みつづけたい	どちらかというに住みつづけたい	できれば住みつづけない	住みつづけたくない	どちらでもない	その他	不明
数	57	23	3	1	8	1	0
全体比	61%	25%	3%	1%	9%	1%	0%

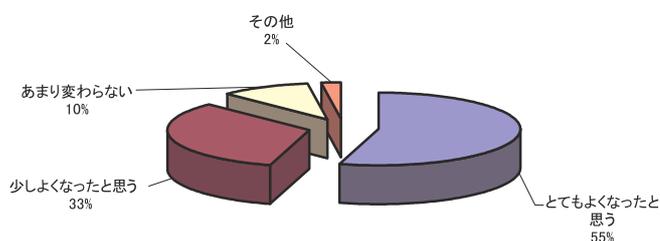
93



質問7. 現在城下町地域では街並整備が行われていますが、ここ10年間の整備をどう思われますか？

	とてもよくなったと思う	少しよくなったと思う	あまり変わらない	やや悪くなったと思う	悪くなったと思う	その他	不明
数	48	29	9	0	0	2	0
全体比	55%	33%	10%	0%	0%	2%	0%

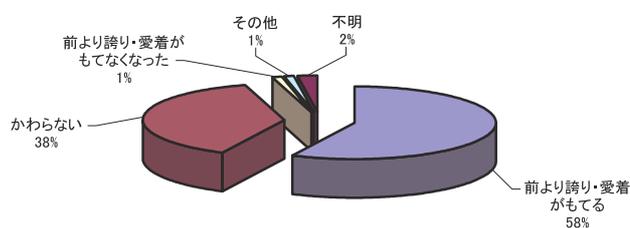
88



質問8. 街なみが変わったことにより、自分の町に対する誇り・愛着の気持ちは変わりましたか？

	前より誇り・愛着がもてる	かわらない	前より誇り・愛着がもてなくなった	その他	不明
数	52	35	1	1	2
全体比	57%	38%	1%	1%	2%

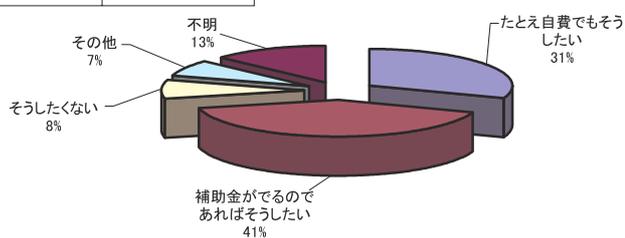
91



質問9. もしも家を新築または増改築するとすれば、鹿野の街並に合った家になりたいと思いますか？

	たとえ自費でもそうしたい	補助金がでるのであればそうしたい	そうしたくない	その他	不明
数	33	44	9	8	14
全体比	31%	41%	8%	7%	13%

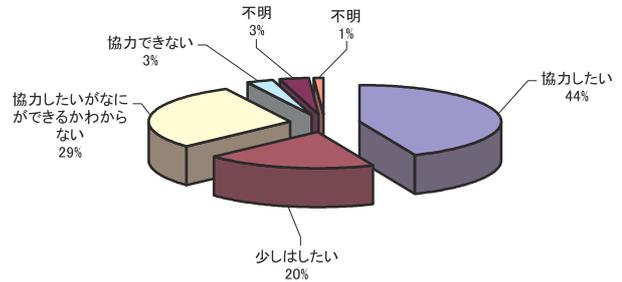
108



質問10. あなたは鹿野の街並を良くするために、何か協力したいと思いますか？

	協力したい	少しはしたい	協力したいがなにができるかわからない	協力できない	その他	不明
数	40	18	27	3	3	1
全体比	43%	20%	29%	3%	3%	1%

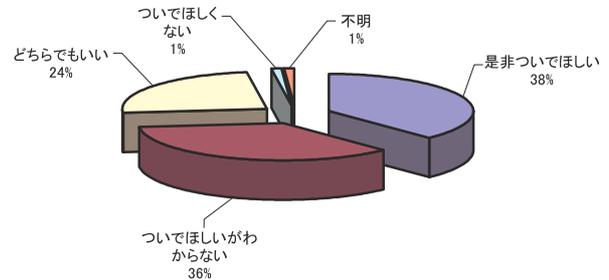
92



質問11. 将来子供に家をついでほしいと思いますか？

	是非ついでほしい	ついでほしいがわからない	どちらでもいい	ついでほしくない	その他	不明
数	34	32	22	1	0	1
全体比	38%	36%	24%	1%	0%	1%

90



帰省した方へのアンケート

アンケート期間：平成15年12月22日～平成16年1月26日

中国・近畿圏からの帰省が87%と多く、ほとんどの人が盆・正月を利用して帰省しているが、2年に1度ある鹿野祭りの時にも帰省する人が14%いることが鹿野の特徴とも言える。

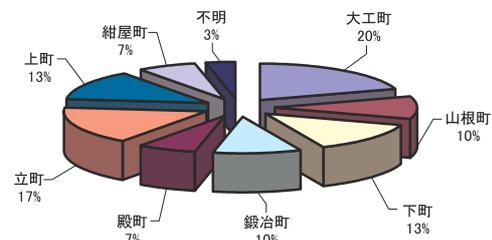
帰省した人々も、鹿野のまちなみ景観の変化は感じており、74%と多くの人々が道路・水路をはじめ、格子等の建具や街並みが良くなったと感じている。

また、半数以上の人々が鹿野に住みたいと考えているものの、地元での就職先がないなどが阻害要因となっている。

今後鹿野に求めることは、観光客の多いにぎやかな町よりも、伝統文化・風景・美しいまちなみ景観を活かした、ぬくもりのある静かな町を求めている。

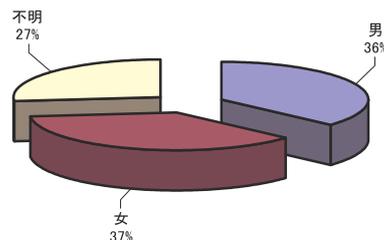
質問1. あなたの帰省した町は？

	大工町	山根町	下町	鍛冶町	殿町	立町	上町	紺屋町	不明	計
出荷数	68	27	35	38	45	22	47	45		327
数	6	3	4	3	2	5	4	2	1	30
回収率	9%	11%	11%	8%	4%	23%	9%	4%		9%
全体率	20%	10%	13%	10%	7%	17%	13%	7%	3%	100%



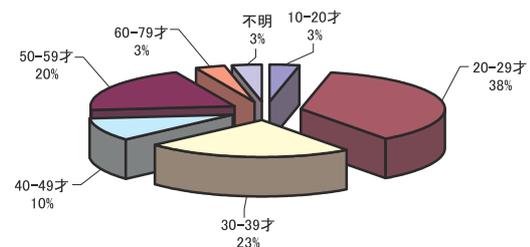
質問2. あなたの性別は？

	男	女	不明
数	11	11	8
男女比	37%	37%	27%



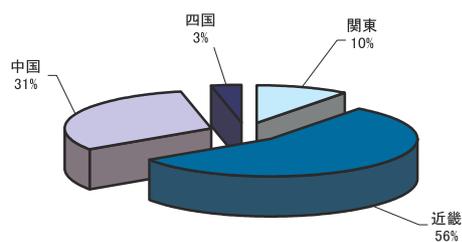
質問3. あなたの年齢は？

	10-20	20-29	30-39	40-49	50-59	60-79	80-	不明
数	1	11	7	3	6	1	0	1
全体比	3%	37%	23%	10%	20%	3%	0%	3%



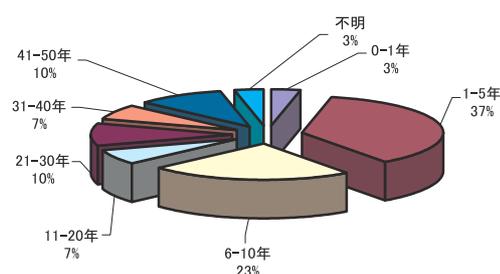
質問4. どこから帰省してきましたか？

	北海道	東北	甲信越	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	不明	計
数	0	0	0	3	0	0	16	9	1	0	0	29
全体率	0%	0%	0%	10%	0%	0%	55%	31%	3%	0%	0%	100%



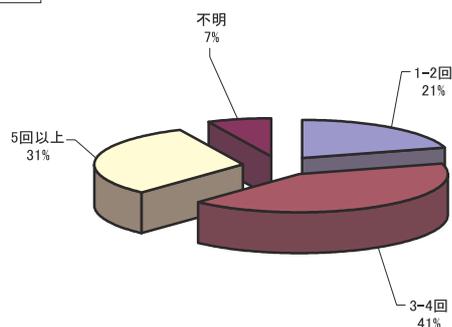
質問5. 鹿野をはなれて何年になりますか？

	-1	1-5	6-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	80-	不明	計
数	1	11	7	2	3	2	3	0	0	0	0	1	30
全体比	3%	37%	23%	7%	10%	7%	10%	0%	0%	0%	0%	3%	100%



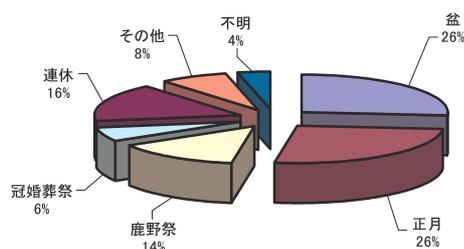
質問6. 年間何度帰省しますか？

	1-2	3-4	5-	ほとんど帰らない	不明	計
数	6	12	9	0	2	29
全体比	21%	41%	31%	0%	7%	100%



質問6-1. それはどんなときですか？

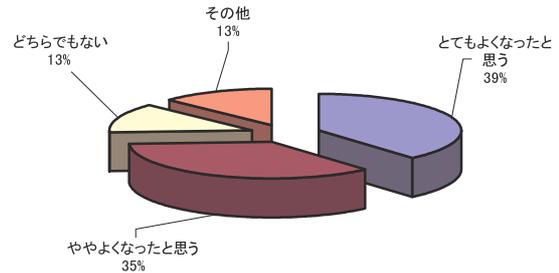
	盆	正月	鹿野祭	冠婚葬祭	連休	その他	不明	計
数	21	21	11	5	13	6	3	80
全体比	26%	26%	14%	6%	16%	8%	4%	100%



質問7. 最近鹿野の街並景観は良くなったと感じますか？

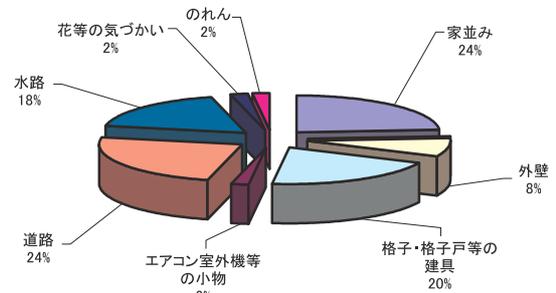
	とてもよくなったと思う	ややよくなったと思う	どちらでもない	やや悪くなったと思う	悪くなったと思う	その他	不明
数	12	11	4	0	0	4	0
全体比	39%	35%	13%	0%	0%	13%	0%

31



質問7-1. 1または2と答えられた方にお聞きします。どこが良くなったと思いますか？（複数回答可）

	家並み	屋根	外壁	格子・格子戸等の建具	エアコン・室外機等の小物	道路	水路
数	12	0	4	10	1	12	9
全体比	24%	0%	8%	20%	2%	24%	18%
	軒高	花等の気づかい	のれん	門・塀	町の人々の活気	その他	
数	0	1	1	0	0	0	50
全体比	0%	2%	2%	0%	0%	0%	



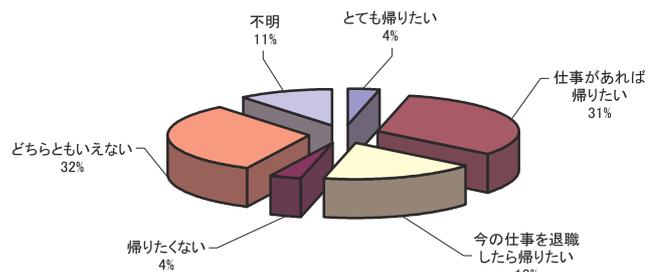
質問7-2. 4または5と答えられた方にお聞きします。どこが悪くなったと思いますか？（複数回答可）

格子、格子戸 - 統一感がない。

質問8. 将来的に鹿野に帰りたい（住みたい）と思いますか？

	とても帰りたい	仕事があれば帰りたい	今の仕事を退職したら帰りたい	学校を卒業したら帰りたい	帰りたくない	どちらともいえない	その他	不明
数	1	9	5	0	1	9	0	3
全体比	4%	32%	18%	0%	4%	32%	0%	11%

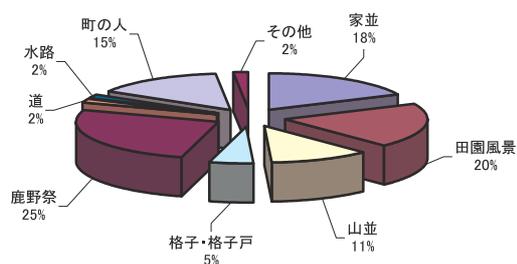
28



質問9. あなたは何に鹿野らしさ（懐かしさ）を感じますか？（複数回答可）

	家並	田園風景	山並	格子・格子戸	鹿野祭	道	水路	町の人	路地	のれん	瓦屋根	白壁	その他
数	11	12	7	3	16	1	1	9	0	0	0	0	1
全体比	18%	20%	11%	5%	26%	2%	2%	15%	0%	0%	0%	0%	2%

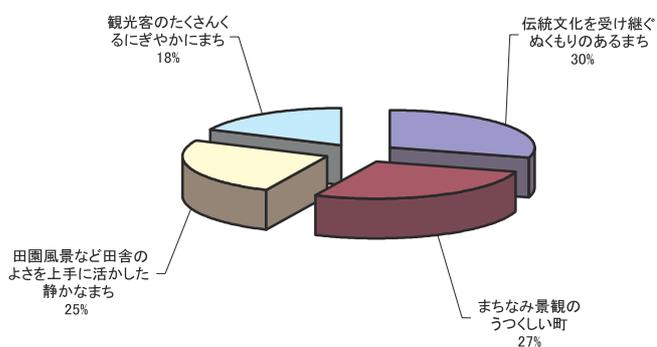
61



質問10. 今後、鹿野のまちがどうあってほしいですか？（複数回答可）

	伝統文化を受け継ぐぬくもりのあるまち	まちなみ景観のうつくしい町	田園風景など田舎のよさを上手に活かした静かなまち	観光客のたくさんくるにぎやかにまち	その他
数	13	12	11	8	0
全体比	30%	27%	25%	18%	0%

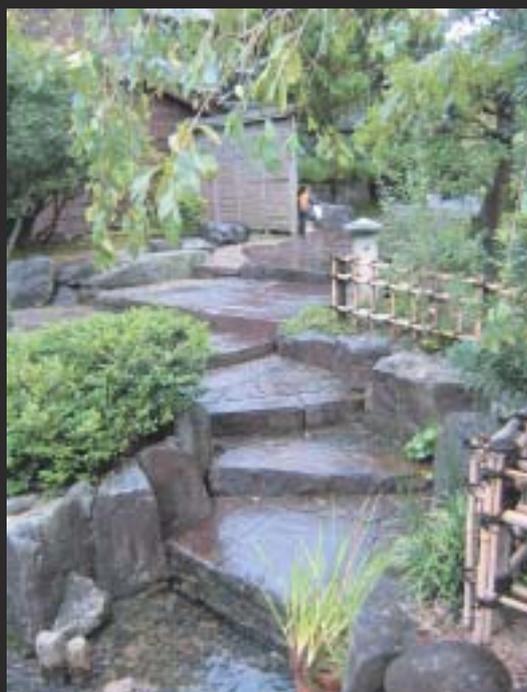
44



まちから 見える風景



玄関先の工夫



まちなみへの の気づかい



駐車場 ガレージへの 配慮



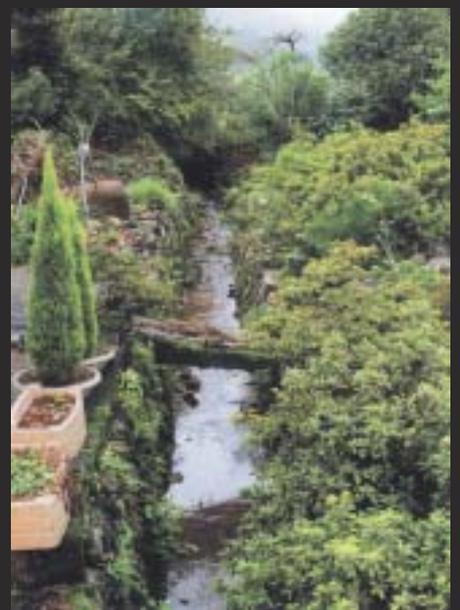
壁面への配慮



美しい
まちなみ・
家なみ



水路の 似合うまち





「まち普請の作法をつくる会」
まちなみマップ

 鹿野のまちなみに似合っていると思われるお宅

 まちなみ・風景が美しいと思われる場所

「まち普請の作法」をつくる会

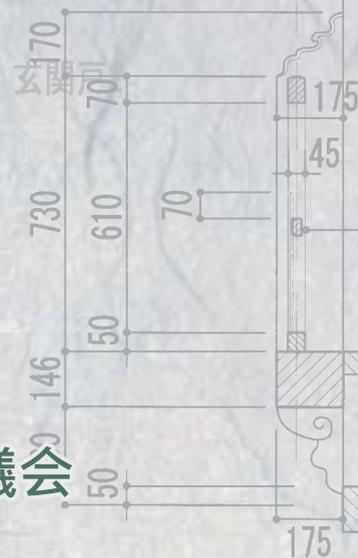
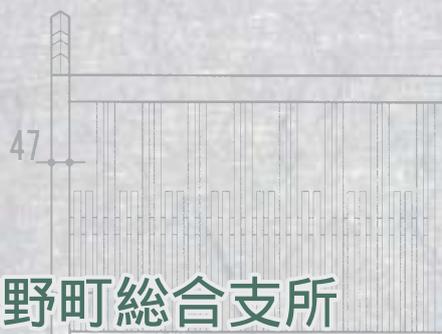
評議方	東樋口護	鳥取環境大学環境デザイン学科教授
作事方相談役	中尾純一	街なみ整備アドバイザー セツ建築設計事務所
	木下正昭	街なみ整備アドバイザー 有限会社木下建築研究所
行司方	澤田廉路	(財)とっとり政策総合研究センター 調査研究サブディレクター
委員	小畑 厚	有限会社小畑建築
委員	高田聖一	有限会社気高木工製作所
委員	原 幸雄	有限会社原建設
委員	北野 満	北野木工製作所
委員	小簀義雄	小簀工務店
委員	小林裕明	コナカ有限会社

事務局	いんしゅう鹿野まちづくり協議会	
	理事長	長尾裕昭
	街並み整備部部长	瀧 憲章
	担当主事	渡邊修司
	担当副主事	筒井洋平

その他たくさんの方々のご協力のもと冊子が製作されました。
この場をおかりして御礼申し上げます。



腰高格子2



鳥取市鹿野町総合支所

まち普請の作法を作る会

特定非営利
活動法人

いんしゅう鹿野まちづくり協議会

腰高格子1

